

## 2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月4日

上場会社名 株式会社 天満屋ストア 上場取引所 東  
 コード番号 9846 URL <http://www.tenmaya-store.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)野口 重明  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)加島 誠司 (TEL)086-232-7265  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 2019年11月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	35,844	△4.3	972	△16.3	1,073	△12.8	690	△10.5
2019年2月期第2四半期	37,461	△1.4	1,162	△4.0	1,230	0.9	771	△2.1

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 673百万円 (△12.0%) 2019年2月期第2四半期 764百万円 (0.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年2月期第2四半期	59	88	—	—
2019年2月期第2四半期	66	91	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	48,737	20,379	41.7
2019年2月期	47,950	19,793	41.2

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 20,335百万円 2019年2月期 19,752百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年2月期	—	2.50	—	7.50	10.00	—
2020年2月期	—	2.50	—	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2019年2月期期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭 記念配当 5円00銭

### 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円	銭
通期	71,000	△3.8	2,000	△8.8	2,100	△9.5	1,080	△13.5	93.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年2月期2Q	11,550,000株	2019年2月期	11,550,000株
2020年2月期2Q	23,288株	2019年2月期	23,288株
2020年2月期2Q	11,526,712株	2019年2月期2Q	11,525,708株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、取締役に対する株式交付信託が保有する当社株式を含めておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題に加え、日韓対立などの不確実な政治・経済情勢の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いてまいりました。また、10月の消費増税を控え、生活防衛意識は一層強まり、個人消費は低調なまま推移いたしました。

こうしたなか、当社グループは、営業力の強化と収益力の向上に取り組むとともに、コンプライアンスの一層の強化にも努めてまいりました。また、グループ経営において、より専門的かつ効率的な運営を目的に2019年3月1日付で当社子会社の株式会社でりか菜が、岡山工場と倉敷工場に事業を分割いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は358億44百万円(前年同四半期比4.3%減)、営業利益は9億72百万円(前年同四半期比16.3%減)、経常利益は営業外収益の増加などにより10億73百万円(前年同四半期比12.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億90百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (小売事業)

小売事業につきましては、当社が本年度創業50周年の節目を迎え、「これからもずっと、このまちにハッピーを。」をテーマに、地域のみなさまに感謝の意をお伝えするため、地元商品の品揃え強化や創業50周年を切り口とした記念商品の開発及び新たな販売促進などを積極的に展開してまいりました。さらに、株式会社セブン&アイ・ホールディングスのプライベートブランド「セブンプレミアム」を拡販するとともに、電子マネー「nanaco」の取り扱いを全店展開するなど、他店との差別化を図ってまいりました。また、2019年3月にリブ総社店(岡山県総社市)1階に「天満屋ふるさと館」を開設、7月に郡家店(鳥取県八頭郡)を改装オープンするなど、既存店舗の活性化にも努めてまいりました。

事業拡張につきましては、当社において6月に複合商業施設「BRANCH岡山北長瀬」内に北長瀬店(岡山市北区)を新設いたしました。なお、昨年の西日本豪雨により甚大な被害を受け休業しておりました真備店(岡山県倉敷市)は、「地元とともに復興を果たす」を基本方針に、地元の従業員や関係者の生活再建に足並みをあわせ、8月に営業を再開いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の小売事業の営業収益は328億32百万円(前年同四半期比3.1%減)、営業利益は8億3百万円(前年同四半期比14.7%減)となりました。

#### (小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発力の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の小売周辺事業の営業収益は30億11百万円(前年同四半期比15.9%減)、営業利益は1億68百万円(前年同四半期比23.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億86百万円増加し、487億37百万円となりました。これは主に、流動資産が7億8百万円、有形固定資産が3億45百万円増加し、無形固定資産が12百万円、投資その他の資産が2億54百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加し、283億57百万円となりました。これは主に、流動負債が10億9百万円増加し、固定負債が8億7百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億85百万円増加し、203億79百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ36百万円増加し、9億7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ3億39百万円減少し、17億8百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1億43百万円減少したことやたな卸資産の増減によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ65百万円増加し、7億88百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億26百万円減少したことなどによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ7億8百万円増加し、8億83百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金が増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、景気は緩やかな回復基調が継続することが期待されますものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等の懸念材料も多く、消費増税による消費意欲の減退など個人消費の本格的な回復は見込めないまま推移するものと予想されます。当社グループといたしましては、このような厳しい環境のなかで、商品・販売促進・サービスなどにおける創業50周年企画に引き続き取り組み、すべてのステークホルダーに感謝の意を伝えるとともに消費喚起や地元貢献に努めてまいります。また、粗利益率の改善や販管費の合理化による収益力の向上に努めるほか、自動化・省力化システムの更なる拡大により、人手不足と働き方改革へ対応するとともに、人材の育成と組織の活性化にも引き続き注力してまいります。

また、業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績値等を踏まえ、2019年4月10日に公表いたしました2020年2月期(2019年3月1日～2020年2月29日)の通期連結業績予想を修正いたします。

## 2020年2月期通期連結業績予想数値の修正(2019年3月1日～2020年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	74,000	2,250	2,350	1,250	108.44
今回修正予想(B)	71,000	2,000	2,100	1,080	93.69
増減額(B-A)	△3,000	△250	△250	△170	—
増減率(%)	△4.1	△11.1	△10.6	△13.6	—
(ご参考)前期実績 (2019年2月期)	73,827	2,193	2,321	1,248	108.32

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	870,820	907,026
売掛金	1,566,713	1,817,026
商品	2,654,352	2,728,826
貯蔵品	15,939	23,921
その他	1,585,565	1,895,028
貸倒引当金	△40,193	△10,252
流動資産合計	6,653,198	7,361,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,293,212	12,390,192
土地	14,678,294	14,678,294
その他(純額)	2,524,469	2,772,680
有形固定資産合計	29,495,975	29,841,167
無形固定資産		
のれん	192,161	172,539
その他	2,618,147	2,625,435
無形固定資産合計	2,810,309	2,797,975
投資その他の資産		
差入保証金	2,160,685	2,089,235
敷金	4,880,346	4,737,576
その他	1,962,606	1,922,271
貸倒引当金	△12,800	△12,800
投資その他の資産合計	8,990,837	8,736,283
固定資産合計	41,297,122	41,375,425
資産合計	47,950,321	48,737,002

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,660,333	3,194,279
電子記録債務	915,147	926,735
短期借入金	7,201,579	7,488,092
未払法人税等	373,859	390,263
賞与引当金	103,397	86,522
その他	3,413,604	3,591,161
流動負債合計	14,667,921	15,677,055
固定負債		
長期借入金	8,404,502	7,494,582
役員株式給付引当金	16,154	21,305
利息返還損失引当金	81,939	73,276
退職給付に係る負債	1,380,567	1,364,353
資産除去債務	215,627	217,632
長期預り保証金	172,374	131,096
長期預り敷金	2,063,021	2,060,268
その他	1,154,255	1,318,250
固定負債合計	13,488,442	12,680,765
負債合計	28,156,363	28,357,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	10,818,160	11,421,766
自己株式	△26,876	△26,876
株主資本合計	19,836,284	20,439,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,233	45,776
退職給付に係る調整累計額	△161,923	△149,804
その他の包括利益累計額合計	△83,690	△104,027
非支配株主持分	41,363	43,318
純資産合計	19,793,957	20,379,181
負債純資産合計	47,950,321	48,737,002

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	35,910,525	34,307,499
売上原価	26,944,008	25,703,245
売上総利益	8,966,516	8,604,253
営業収入	1,550,518	1,536,878
営業総利益	10,517,035	10,141,132
販売費及び一般管理費	9,354,879	9,168,709
営業利益	1,162,155	972,422
営業外収益		
受取利息	1,653	1,625
受取配当金	37,754	38,963
受取補償金	7,494	114,535
協賛金収入	4,732	5,183
補助金収入	71,190	—
その他	21,276	2,163
営業外収益合計	144,101	162,470
営業外費用		
支払利息	73,158	61,479
その他	2,364	367
営業外費用合計	75,522	61,846
経常利益	1,230,733	1,073,046
特別損失		
固定資産除却損	26,465	34,879
固定資産売却損	29,407	—
その他	2,279	8,625
特別損失合計	58,152	43,505
税金等調整前四半期純利益	1,172,580	1,029,541
法人税等	397,025	336,159
四半期純利益	775,555	693,381
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,275	3,155
親会社株主に帰属する四半期純利益	771,279	690,226

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
四半期純利益	775,555	693,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,900	△32,456
退職給付に係る調整額	11,328	12,119
その他の包括利益合計	△10,572	△20,337
四半期包括利益	764,982	673,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	760,707	669,888
非支配株主に係る四半期包括利益	4,275	3,155

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,172,580	1,029,541
減価償却費	758,191	807,370
のれん償却額	21,904	19,622
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,982	△29,941
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,194	△16,875
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△50,979	1,213
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	704	5,150
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△11,198	△8,662
受取利息及び受取配当金	△39,407	△40,588
支払利息	73,158	61,479
固定資産除却損	26,465	34,879
固定資産売却損益(△は益)	29,407	—
売上債権の増減額(△は増加)	△272,505	△250,313
たな卸資産の増減額(△は増加)	173,620	△82,455
仕入債務の増減額(△は減少)	490,592	511,394
その他	106,851	18,520
小計	2,455,210	2,060,336
利息及び配当金の受取額	30,173	30,700
利息の支払額	△73,052	△59,972
法人税等の支払額	△364,142	△322,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,048,189	1,708,882
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,024,504	△898,081
有形固定資産の売却による収入	109,945	—
無形固定資産の取得による支出	△20,445	△34,545
敷金及び保証金の差入による支出	△8,375	△7,431
敷金及び保証金の回収による収入	250,312	221,585
預り敷金及び保証金の受入による収入	17,270	18,105
預り敷金及び保証金の返還による支出	△178,466	△88,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△854,263	△788,729

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400,000	380,000
長期借入れによる収入	1,950,000	1,650,000
長期借入金の返済による支出	△2,959,640	△2,653,407
リース債務の返済による支出	△125,441	△150,586
自己株式の売却による収入	580	—
配当金の支払額	△28,873	△86,620
非支配株主への配当金の支払額	△1,200	△1,200
その他	△27,587	△22,133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,592,161	△883,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△398,235	36,205
現金及び現金同等物の期首残高	1,274,842	870,820
現金及び現金同等物の四半期末残高	876,606	907,026

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。